

美崎会グループのご紹介



国分中央病院

〒899-4332 鹿児島県霧島市
国分中央1丁目25番70号

TEL.0995-45-3085



サービス付き高齢者向け住宅 メディカーサ国分中央

〒899-4332 鹿児島県霧島市
国分中央1丁目25番51号

TEL.0995-73-7111



地域密着型特別養護老人ホーム ソ・ウェルこくぶちゅうおう

〒899-4332 鹿児島県霧島市
国分中央3丁目12番29号

TEL.0995-73-8300

美崎会グループのWebサイトは下記よりご覧ください

<http://www.misakikai.or.jp/> 美崎会 検索



■外来診療科目

- 内科 ●呼吸器内科 ●循環器内科 ●消化器内科
- 外科 ●皮膚科
- リハビリテーション科

診療時間のご案内	外来診療日	月曜日～土曜日
	診療時間	月～金曜日
		午前9:00～午後12:30 (受付は12:00まで)
		午後2:00～午後5:00 (受付は午後4:30まで)
	土曜日	午前9:00～午後12:30 (受付は12:00まで)

診療科目別の診療時間

令和4年
4月現在

下記の専門外来の診療曜日に限らずにはまずにご相談ください。

■糖質制限外来

診療科目	月	火	水	木	金	土
内科	内 科	○	○	○	○	○
	呼吸器内科	○	○		○	○
	循環器内科	○	○	○	○	○
	消化器内科		○	○	○	○
外科	外 科				○	○
	皮 膚 科		○			
午後14:00～17:30	担当医					
	内 科					
	外 科				○	
	皮 膚 科		○			

編集／医療法人 美崎会 国分中央病院 IT・広報委員会 発行日／令和4年4月1日
〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央1丁目25-70 TEL.0995-45-3085 FAX.0995-45-3088



MISAKI KOKUBU CHUO HOSPITAL NEWS VOL.11

MISAKI

Kokubu Chuo Hospital NEWS

vol.11

霧島市民に必要とされる施設
美崎会 活動 情報誌



P.2 三輪クリニック 三輪先生インタビュー [高齢者在宅救急について]



P.4 歯科衛生士とは



P.5 身体拘束について

P.6 糖質制限食について



P.7 介護医療院 について

FREE
ご自由
にお取り
ください



三輪クリニック
院長 三輪 晋智先生

三輪 クリニック インタビュー

院長 三輪 晋智先生



在宅支援部
部長代理 河本 智美

【河本】 本日はお忙しい中、時間をお取りいただきありがとうございます。当院では令和2年8月から高齢者在宅救急の運用を開始し、1年半が過ぎました。出動件数はまだまだ多くはないですが、これまでに三輪先生にも高齢者在宅救急をご利用いただいているため、そのご感想やアドバイスをお伺いし、今後の運用に活かしていきたいと思っています。当院の高齢者在宅救急の印象はいかがでしょうか。

【三輪先生】 数回活用させてもらいましたが、私は診療日はクリニックの休憩時間に施設への訪問診療に出かけます。そこで、「あ、この方は入院が必要だな」と思ったタイミングで活用させていただいています。電話1本ですぐに受け入れてくださるのは有り難いと思っています。

【河本】 ありがとうございます。当院では、救急の要請から病院収容までをできる限り迅速に対応したいと思っています。現在、当院の高齢者在宅救急の運用時間は平日の8時半から17時となっていますが、時間帯についてはいかがですか。

【三輪先生】 要請してから、お迎えにきて頂くまでの時間を遅いと感じたことはありませんし、訪問診療に行っている施設からも、

そのような意見は聞いていません。また、先ほど、診療日の昼休みに訪問診療に行くと話しましたが、あとは、診療後や休診日に向かうこともあるので、できることならせめて平日の夕方から夜間にかけての受け入れが実現すると、さらに活用させていただく機会が増えるのかなと感じています。

【河本】 そうですね。夕方から夜間帯での運用については、他のクリニックの先生からのご意見をいただいているところです。1日でも早く対応可能な時間帯を伸ばし、地域の先生方の一助となれるよう努力いたします。その他、ご要望などなかったでしょうか。

【三輪先生】 高齢者在宅救急についての案内を頂き、施設にも配らせてもらいましたが、国分中央病院での診療体制をわかりやすく提示して頂き、それらも施設に配っていただくことができれば、さらに要請しやすくなるのではないかと思います。

【河本】 確かに、地域の先生方は、当院の役割についてもご存じかと思いますが、施設等の方には当院で対応可能な患者さまについて、まだまだご存知頂けていない部分があるかもしれません。早速、院内で検討させて頂き対応したいと思っています。貴重なご意見ありがとうございます。

【三輪先生】 それぞれの役割を果たせるよう、地域の方々へより良い医療の提供ができるよう連携を図っていきましょう。

【河本】 今回頂いたご助言を活かし、当院の高齢者在宅救急の運用を行っていかうと思います。また、今後も連携を図らせていただくことで、当院もさらに地域医療に貢献して参りたいと思います。ありがとうございました。



三輪クリニック [内科・外科・消化器科・呼吸器科]

〒899-4322 鹿児島県霧島市国分福島3丁目40-18 電話/0995-73-3138



開放型登録医院のご案内

当院では、患者のかかりつけ医である医師からの紹介で入院された患者に対し、かかりつけ医と病院の医師が共同して診断・治療・指導にあたる診療体制をとっています。



医療法人吉野会 はやと整形外科

鹿児島県霧島市隼人町真孝 1013 番地

【電話】 0995-43-6111

【診療科目】 整形外科・外科・リハビリテーション科

【院長】 海江田 光裕 先生



医療法人 原口耳鼻咽喉科

鹿児島県霧島市国分中央1丁目21番31号

【電話】 0995-46-3333

【診療科目】 耳鼻咽喉科・アレルギー科・
気管食道科・麻酔科

【院長】 原口 兼明 先生

歯科衛生士とは？

人々の歯、口腔の健康づくりを
サポートする国家資格の専門職です

私たち歯科衛生士は、患者さんの口腔健康管理を支える役割を担っています。
口腔内を清潔に保つことで、誤嚥性肺炎の予防に繋がります。



- 歯ブラシ
- 舌ブラシ
- 歯みがきティッシュ
- 糸ようじ・歯間ブラシ
- スポンジブラシ
- 保湿ジェル
- ガーグルベース
- コップ



患者さんに必要な口腔ケア用品を準備し
一人一人口腔ケアを行っていきます。

- 1 口角・口唇にジェルを塗布します。
- 2 スポンジブラシを使って口の中をキレイにします。
- 3 舌ブラシを使って奥から手前へ舌の汚れを取ります。
- 4 歯ブラシで清掃します。
- 5 うがいが出来る場合には口の中を湿らせ洗い流します。うがいが出来ない場合は、残渣物や唾液を歯みがきティッシュで拭き取りをします。
- 6 義歯を外し義歯ブラシを使って洗い流します。

これからも、患者さんが快適な日々を送れるよう
多職種と連携して口腔ケアを行ってまいります。

「身体拘束」

という言葉から皆さんはどんな様子をイメージするでしょうか。

身体拘束・行動制限の具体的行為として厚生労働省の「身体拘束ゼロへの手引き」は次の11点をあげています。

- 1 徘徊しないように、車いすやベッドに体幹や四肢をひも等で縛る
- 2 転落しないように、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る
- 3 自分で降りられないように、ベッドを柵（サイドレール）で囲む
- 4 点滴、経管栄養等のチューブ類を抜かないように、四肢をひも等で縛る
- 5 点滴、経管栄養等のチューブ類を抜かないように、または皮膚をかきむしらないように、手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつける
- 6 車いすやベッドから落ちたり、立ち上がったりしないように、Y字型拘束帯や腰ベルト、車いすテーブルをつける
- 7 立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるようないすを使用する
- 8 脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣（つなぎ服）を着せる
- 9 他人への迷惑行為を防ぐために、ベッドなどに体幹や四肢をひも等で縛る
- 10 行動を落ち着かせるために、向精神薬を過剰に服用させる
- 11 自分の意思で開けることのできない居室等に隔離する

当院では
身体拘束を
行いません！



身体拘束は疾患や治療を行う上でやむを得ず行わなければならないケースもあります。しかし、倫理的な観点だけでなく心身両面にまた社会的にも患者さんに大きなダメージを与え患者さんのQOL（生活の質）を大きく損なうリスクも指摘されています。

当院では治療方針のひとつに「身体拘束を行わない」ということを掲げており現在、入院患者さんの中に身体拘束を行っている方はゼロです。もちろん「身体拘束をゼロにしよう」と決めて簡単にできたわけではありません。認知症ケアを学んだ看護師を中心に、何度も何度も対策を考え実行し、また対策を練るということの繰り返しで今の「身体拘束ゼロ」が実現できているのです。

ご家族の中には「前の病院では抑制をしていたけどしなくて大丈夫？」などと質問されることもありますが、当院の方針を伝えたくて身体拘束を行わなくてもいいように代替策を提案すると同時に予測される事象も伝え納得して頂いたうえで抑制を中止しています。これまで前医で抑制されていた方も、身体をフリーにしてあげるだけで案外落ち着いて過ごされるケースも多いものです。

「患者さんの生命と安全」を守るためそして「人としての尊厳」を守るため今後も「身体拘束ゼロ」を継続いたします。

看護・介護部
部長代理
窪山 理恵





糖質制限食について

これまで何度か紹介してきているように、当院では糖尿病患者にはカロリー制限食ではなく、糖質制限食で対応を行っております。当院の糖質制限食とはどのような食事か紹介します。

当院の糖質制限食

当院の糖質制限食は C-4 食、C-3 食、C-S 食の 3 種類があります。

糖質制限食の患者は糖質制限量に合わせて、段階的にご飯の量を減量しています。

C-4 軽い糖質制限	C-3 ほとほとの糖質制限	C-S 厳格な糖質制限
		
ご飯：70 g / 食	ご飯：50g/ 食	ご飯なし
糖質：120g/ 日	糖質：90g/ 日	糖質：45g/ 日

ご飯の量で糖質制限をするだけでなく、パンや麺類、芋類、果物など糖質を多く含む食品の使用を控えることや、揚げ物の衣や粉類はおから粉で代用するなどして糖質制限食に対応しています。

糖質を制限する理由

糖質を必要以上に摂り過ぎると、エネルギーとして使われなかったブドウ糖が余ってしまいます。この余ったブドウ糖は、筋肉や肝臓に貯蔵されます。しかし、貯蔵できないほどにブドウ糖が余ってしまうと、脂肪として体に溜め込まれ、太る原因や糖尿病などの病気の原因となります。

逆に糖質を制限すると、貯蔵されていたブドウ糖や脂肪を燃やしてエネルギーとして使うため体は痩せていきます。

このような理由から当院では、糖尿病患者に糖質制限食で対応をしています。

新たに 介護医療院 を開設します



高齢化社会は間もなく 2025 年にピークを迎えますが、鹿児島県内全体、並びに霧島市におきましても例外ではありません。

そんな中、私共は、これまで病院（療養病床等）を中心に、慢性期医療等に貢献してまいりましたが、今後ますます加速していく高齢化時代に対応していくために病院が行っている事業〔（1）指定介護支援事業所、（2）サービス付き高齢者向け住宅の運営、（3）訪問看護ステーションの運営〕に加え、

新たに「介護医療院」を開設いたします。

この「介護医療院」は、厚生労働省から示されている役割・理念に基づき、要介護高齢者に対して「生活施設」としてのサービスを提供するための施設として、病院内に開設しますので、利用される方の容体急変等にも迅速に対応できるものとなっています。

加えて、看取りやターミナルケアといった終末期を安定した環境でむかえたいと願っておられる方（ご家族）や在宅復帰を目指してリハビリ等を行う方など、利用される方の様々な要望にお応えできる施設です。

私共は、これにより県内特に霧島市を中心とした地域の方々に対し、さらに地域医療等の面で貢献できると考えています。

居室は？

30床

- 4床部屋 1部屋
- 3床部屋 8部屋
- 個室 2部屋

対象となる方は？

- 要介護認定者（要介護1～5）
- 介護ニーズが高いものの喀痰吸引や経管栄養等の医学管理により自宅や介護施設等で支えることが難しい方

